

2025.9.21
(uploaded 2025.10.16)

季節に帰ろう

Words by Keiichiro Kodama
& San Motegi
Music by Keiichiro Kodama
Performed by HUSHBYRD
3-79, 3'19

夏の楽しい日々をまだまだ楽しみたいと思っているうちに季節は自分を置いてどんどんと先に進んでしまう。その淋しさや名残惜しさを歌にしてみた。井上陽水の「少年時代」へのオマージュ。

While I was hoping to continue enjoying the fun days of summer, the season moved on, leaving me behind. I wrote a song about that loneliness and nostalgia. It's an homage to Yosui Inoue's "Shounen Jidai."

小さく羽を ふるわせて
午後のひかりの中
赤とんぼ 飛んでった
麦わらぼうしの

影が 長くのびて
風が ささやいてく
さあ 帰ろう

時は 陽炎 (かげろう)
過ぎし日 揺らいで
心にあらわれ 消える
夏の 夢模様

ひまわりは 輝く黄色
山の端に 白い雲
川の流れ 光きらめく
線香花火 もうひとつ

白くうすき 絹の雲
青空に描いて
秋の日の 澄んだ時間
もうすぐ そこに
夏の思い出
閉じて たたんで
さあ 帰ろう
季節の 中へ

当サイトの内容、テキスト、画像、楽曲等の無断転載・無断使用を固く禁じます

Unauthorized copying and replication of the contents of this site, text ,music and images
are strictly prohibited.